

Tajima

レーザー墨出し器

MODEL:JL-GT2

GT2

受光器対応タイプ 取扱説明書

※ご使用が可能な受光器

- レーザーレシーバー (品番:LA-RCV)
- 防滴レーザーレシーバー (品番:BL-RCV)

お買い上げいただき、ありがとうございます。

お使いになる前に、この取り扱い説明書を必ずお読みください。本製品の性能をご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただくようお願い致します。

お読みになった後は、後日必要になることがありますので、**必ず保存してください。**



アフターサービスについての不明な点、タジマQ便サービスについてのお問い合わせは

タジマメンテナンスセンター

0120-470282

フリーFAX.0120-243324

〈受付時間〉月曜日～金曜日(祝日を除く) 8:40～18:00



レーザー墨出し器の取扱い方法などのお問い合わせは

0120-933297

〈受付時間〉月曜日～金曜日 9:00～20:00

土・日・祝日 9:00～19:00



△当製品は精密電子部品を使用しています。外部からの強い衝撃により精度不良となるおそれがあります。お取り扱いおよび保管には十分に注意してください。尚、お客様が本説明書に記載された警告及び注意に従わないことに起因して、損害が発生した場合には、当社はその責を負いません。ご了承ください。

株式会社 TJM デザイン

本社/〒174-8503 東京都板橋区小豆沢3-4-3 0120-933297

ホームページ <http://www.tajimatool.co.jp>

本機を正しく使うためのご注意

安全にお使い頂くための重要な内容です。全てをよくお読みの上、指示に従い正しく使用してください。

表示の説明

警告 誤った取扱いをすると、「人が死亡または障害を負う可能性があること」を示します。

注意 誤った取扱いをすると、「人が障害を負う可能性、および物的損害のみが発生する可能性があること」を示します。

絵表示について
○ してはいけないことを示す「禁止」表示です。
! 必ず実行していただくことを示す「強制」表示です。

安全上のご注意

本機はレーザー光を出射します。レーザー安全基準(JIS C6802)のクラス2に準拠しており、取扱いに関してはレーザー安全管理者を設ける必要がありません。しかし、以下に記載する内容には十分に注意してご使用ください。

警告
● レーザー光を直接のぞかないでください。
● レーザー光を他の人に向けないでください。
● 幼児や子供の手の届く場所には保管しないでください。レーザー光を連続して見ると、視力障害を起こすことがあります。

注意
● 絶対に分解や改造をしないでください。本機を分解、改造すると故障、感電の原因となります。
● 使用しない場合は乾電池を取り出してください。乾電池より液が漏れ出すことがあり危険です。故障の原因となります。
● 乾電池を火の中に捨てたり、充電をして使用しないでください。乾電池より液が漏れ出すことがあり危険です。故障の原因となります。

管理上のご注意

■ 次のような場所には置かないでください

- 直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど高温になる場所
- ダッシュボード、トランク、荷台や直射日光下で窓を閉め切った車内
- 磁気を帯びた場所 ● 振動の多い場所

■ 高温下での保管について

本機には、十分な寿命を持つ半導体レーザー(以下LD)を使用しておりますが、高温下での使用は、LDの寿命を短くしてしまいます。また、夏場の自動車内での放置などで本機が著しく高温になってしまった場合は、十分に外気で冷却してからご使用ください。

■ 結露について

寒いとき、暖房をつけた直後など、本機内部に露(水滴)がつき、作動しないことがあります。結露などが確認されましたら、電源を入れない状態でそのまま数時間放置して頂き、その後電源を入れれば正常に作動します。何時間たっても作動しない場合は、メンテナンスセンターにご相談ください。

■ お手入れについて

ご使用後は機械の清掃をしてください。

- カバーガラスが濡れたままであったり汚れていると、ライン光が暗くなったり、精度が悪くなる場合があります。水分をよく拭き取り、市販のレンズクリーナーで汚れをきれいに落してください。
- 本体の汚れは、埃をよく払ってから乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。シンナーなどの溶剤では絶対に拭かないでください。
- 雨が降ったときは、水分をよく拭き取ってからキャリングケースに収納してください。

■ 保管について

- 必ず専用のキャリングケースに入れて保管してください。
- キャリングケースの掛金・ベルトが傷んでいたら本体を収納しないでください。ケースや本体が落下してケガをする恐れがあります。



安心してお使いいただくためのポイント

- 使用前使用後には、必ず精度確認をしてください。取扱説明書の簡易精度チェックの方法通りに、使用前使用後に必ず精度確認を行ってください。精度確認を怠ると、故障による誤測定の原因になります。詳しくは裏面の「精度の確認」をご覧ください。
- 本機は-5℃～40℃の範囲でご使用ください。指定範囲外の温度で使用すると故障および誤測定の原因となる場合があります。
- 本体を移動する際は、スイッチをOFFにしてください。スイッチはOFFと同時に本体内部がロックされます。故障の原因になりますので、スイッチは途中で止めないで最後まで戻してください。
- 運搬する場合は、専用のキャリングケースに入れてください。ケース収納時も強いショックや振動をあたえないでください。車での移動の場合は、助手席のシートの上に置き、動かないように固定してください。また、修理など荷物として送る場合は輸送用外函に入れてお送りください。
- 受光器はタジマレーザー指定受光器をご使用ください。レーザーレシーバー(品番:LA-RCV)、防滴レーザーレシーバー(品番:BL-RCV)以外の受光器では精度を保証できません。絶対に使用しないでください。

使用上のご注意

- 故障したまま、本機をお使いにならないでください。すぐに使用を中止して、販売店に修理をご依頼ください。詳しくは裏面の「故障かなと思ったら」をご覧ください。
- 倒したり落としたりしないでください。またゆらさないでください。本機に強いショックをあたえないでください。また、故意にゆらしたり振動をあたえないでください。故障の原因になります。
- 濡らさないでください。防水構造ではありませんので、雨中で使用したり、濡れたまま使用しないでください。電気部品がショートして故障の原因になります。
- レンズ、カバーガラスについて 出射窓のカバーガラスには指を触れないでください。破損や誤測定の原因になります。
- 機器本体を三脚に取り付ける際は、確実に固定されていることを確認してください。不確実だと機器が落下して、ケガをしたり本体が破損する恐れがあります。

免責事項

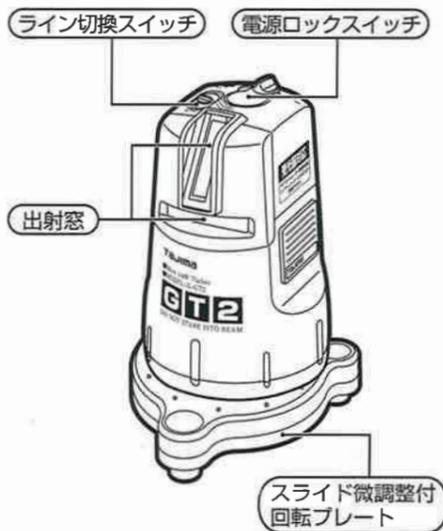
- 取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に対して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の精度確認を怠ったことによって生じた付随的な損害(事業の利益の損失・事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- 火災・地震・第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

特徴

- 1) 半導体レーザーの採用により、小型、軽量で持ち運びにも便利です。
- 2) 単3アルカリ乾電池2本で連続20時間使用可能です。(両ライン使用時)
- 3) 広い自動補正範囲(±3°)により設置が簡単で、自動補正範囲を超えた場合は、レーザーラインが消えます。(角度検出センサー使用)
- 4) 専用エレベーター三脚に取り付けると水平ラインの高さを調節することができます。
※本機は直接、三脚(5/8インチネジ)に取り付け可能です。
- 5) 乾電池の交換時期は、レーザー光線の点滅により、知ることができます。電池寿命ですので、アルカリ乾電池2本を同時に交換してください。
- 6) スライド微調整機能付360°回転プレートを標準装備しているため地墨合せが容易です。
- 7) 別売のタジマ専用受光器/レーザーシーバー(品番:LA-RCV/BL-RCV)が使用可能です。
※センタータイプ墨出し器用受光器(品番:TL-RCV/SL-RCV)はご使用になれません。

仕様

<各部の名称>



- 品名: レーザー墨出し器 GT2
 - 投射光源: 可視光半導体レーザー
 - 光出力: 1mW以下(クラス2)
 - 波長: 635nm
 - 縦ライン精度: 5mで±1mm
 - 水平ライン精度: 5mで±1mm
 - 自動補正範囲: ±3°
 - 制動方式: マグネットダンパー方式
 - 電源: 単3アルカリ乾電池2本
 - 連続使用時間: 単3アルカリ乾電池使用時約20時間(両ライン使用時)
 - 使用温度: -5℃~40℃
 - 電池寿命警告: レーザー光点滅
 - 外形寸法: 高さ167mm×幅121mm
 - 縦ライン出射角: 140°
 - 水平ライン出射角: 140°
 - 重量: 本体約650g(電池含む)
 - ライン幅: 5mで約1.5mm
- ※改良のため予告なく、仕様・外観を変更する場合があります。

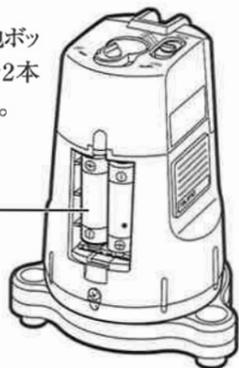
使用方法

警告

- レーザー光を直接のぞかないでください。
- レーザー光を他の人に向けしないでください。
レーザー光を連続して見ると、視力障害を起こすことがあります。

1. お使いになる前に電池ボックスに単3乾電池を2本正しく入れてください。

電池ボックス

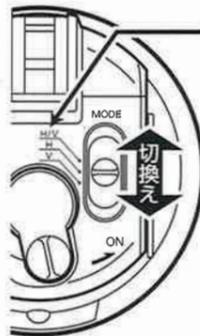


2. スイッチをONにします。

※レーザー光が出ます。電池残量が少ない場合は、レーザー光が点滅します。

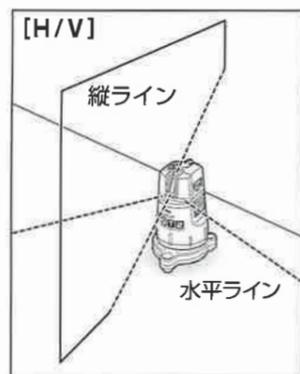


3. 出射ラインの切換えができます。



H/V (水平ライン/縦ライン)
H (水平ライン)
V (縦ライン)

- 水平ラインのみは【H】にして下さい。
- 縦ラインのみは【V】にして下さい。



精度の確認

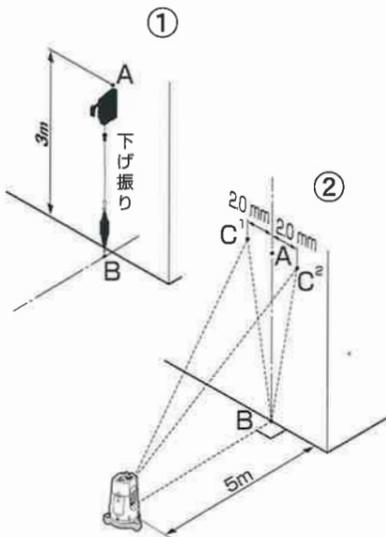
本機を使用する前、使用した後に、必ず下記の方法で精度確認をしてください。使用前使用後の精度確認により、故障による誤作業を防ぎます。

警告

- レーザー光を直接のぞかないでください。
- レーザー光を他の人に向けしないでください。
レーザー光を連続して見ると、視力障害を起こすことがあります。

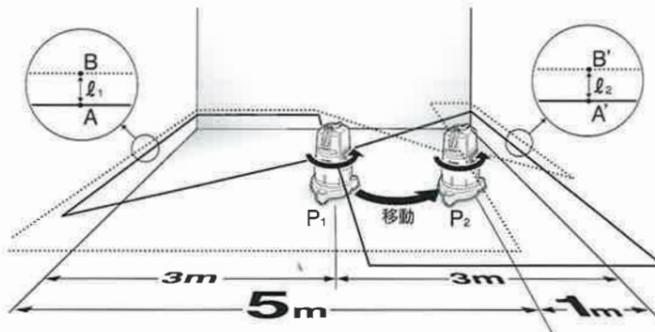
<縦ライン精度の確認>

- 1) 風の影響の少ない既設の建造物の壁を選び、高所3mのポイント1か所をマーキングし、ここをポイントAとします。
- 2) ポイントAから下げ振りを吊した床面のポイントをBとしてマーキングします。(右図①参照)
- 3) この壁面のポイントBより5m離れた位置に、本機を設置し整準します。
- 4) 電源スイッチをONにし、レーザー光をポイントBに合わせます。
- 5) そのままの状態、ポイントAの位置のレーザー光の位置をポイントCとします。ポイントAとポイントCとの差が2.0mm以内であれば正常です。(右図②参照) それ以上の場合、本機の精度許容差を外れています。次項の「故障した時は」をご覧ください。



<水平ライン精度の確認>

- 1) 約6m離れた壁(又は柱)の中央P₁に本機を設置し、ラインを出射します。
- 2) 壁面に射出した水平ライン光をマーキングし、本機を反転して同様に壁面にマーキングします。これをA、A'とします。
- 3) 本機をどちらか一方の壁より約1mの位置P₂に設置し、2)で記した方向に出射しマーキングします。これをB、B'とします。
- 4) 2)と3)で記したA、BおよびA'、B'の間隔 l_1 、 l_2 を測定し、 l_1 と l_2 の差が1mm以内であれば正常です。(右図参照)



故障かなと思ったら

故障かな? 修理をご依頼される前に、次のことを確認してください。

トラブルの状況	ユーザー確認
ライン光が出ない	→ 乾電池は消耗していないか・入れ方は正しいか
ライン光が暗い	→ カバーガラスは汚れていないか
衝撃を与えた場合	→ 上の項目の「精度の確認」をご覧ください
レーザー光の点滅	→ 新しい電池と取り替えてください

上記の方法で、解決できない場合は故障です。「故障した時は」をご覧ください。

故障した時は 修理をご依頼される前に、左記の「故障かな?」を見て故障かどうかを確認してください。

- 1) 「保証書」の有無をご確認ください。
購入時にご記入、保管いただきました「保証書・盗難保険加入申込書」に必要事項が記入されているか再度ご確認ください。
- 2) 本機と「保証書」をケースに入れ、運送用外箱に入れお買い求めの販売店にお持ちいただくか、タジマQ便サービス(表面参照)をご利用ください。

保証

- 同封してあります「保証書・盗難保険加入申込書」記載の保証規定をよくお読みください。
- 運送用ケースに付随する包装材は、修理の際に製品の保護のために必要となりますので、大切に保管してください。